



**特集** 市民との  
4年ぶり **対話集会** P2

- P 4 令和6年度当初予算
- P 7 3月定例会で決まったこと
- P11 審議結果
- P12 市長の施政方針
- P13 一般質問に5議員
- P15 委員会レポート
- P19 視察・研修会
- P20 市民の談話室・編集後記

# 特集 市民との対話集会

今回のテーマは「各自治会の抱える課題について」

2月16日に「市民と議会の対話集会」を4年ぶりに開催し、市内の自治会長の皆様と活発な意見交換を行いました。市内には60の自治会があり、課題と感じていることはさまざまでしたが、共通している課題も多々ありました。

今回はその対話集会の様子を特集します。



田富地区



玉穂地区



豊富地区



地区ごとに会議室を分け、活発に意見交換が行えるよう小グループで行いました。



会場準備や受付もすべて議員で行いました。

## 主な意見

- ・自治会内における高齢化と若い年代の加入者の減少により、自治会の運営が厳しくなっている。自治会の組織の見直しを検討してほしい。
- ・自治会長をはじめ自治会役員の負担が重く、高齢化もあいまって役員のなり手が不足している。自治会役員の役割の見直しを検討してほしい。
- ・自治会要望にスピード感をもって対応してもらいたい。



- ・自治会内のごみ集積場について、自治会に未加入の方の対応が悩ましい。
- ・消防団員のなり手がいない。訓練内容の見直し等、活動内容の見直しが必要。
- ・自治会内の危険箇所等に防犯カメラの設置を。または、設置に対する市独自の補助等を検討してほしい。

## 協議検討依頼書を提出



議会を代表して井口議長、議会改革推進委員会の笹本委員長、木下副委員長が市長に提出しました。

市民と議会の対話集会の結果により、多くの自治会が、上記の「主な意見」を共通の課題と感じており、その中でも市当局へ要請すべきと考えられる事項を精査し、主に、自治会活動のあり方の再検討や消防団員の確保策等、特に重要な案件を要請事項として、3月22日に協議検討依頼書を市長に提出しました。

今回、市へ提出した要請事項以外の課題に関しても、議員一人ひとりがしっかり認識し、議会活動に取り組んでいきます。

令和6年度一般会計予算

前年度比8.4%増

149億9,881万円

令和6年第1回定例会は、2月28日から3月21日までの23日間の会期で開かれました。

市長提案の専決処分1件、条例14件、令和5年度補正予算3件、令和6年度当初予算10件、その他5件、報告2件、人事案件3件を審議しました。

## 主な事業

### ①賑わいと交流の生まれるまちづくり

#### ○観光振興事業

910万円

桃と桜のサイクリングや、これまでのマラソンイベントを機能拡充し新たに試行的に実施するトレイルランニング大会に要する費用など

#### ○有害鳥獣対策事業

634万円

基幹産業である農業関連の主な事業として、年々増加している野生鳥獣の農作物被害防止対策事業補助金など



桃と桜のサイクリング

### ②安心して健やかに暮らせるまちづくり

#### ○子どものための教育・保育給付事業

3,222万円

保護者の所得等に関わらず市内外の公立・私立の保育所、認定こども園などの保育施設等を利用している市内在住のすべての子どもの保育料を無償化するもの

#### ○保育施設のICT化推進事業

1,162万円

保護者の利便性の向上と保育士が働きやすい環境を整備し、保育の質を高めるための登園システムや保育関連情報を一元管理するためのシステム導入など



市内の保育園の様子

#### ○保育園施設整備事業(田富第2・第3統合保育園整備事業)

5,911万円

#### ○児童館施設整備事業(田富杉の子児童館大規模改修工事)

9,483万円

○小中学校給食費無償化(1学期分)

4,782万円

## 反 対 論

学校給食費について、1学期のみ無償化だが、物価高の勢いは鈍ってきているとはいえ、生活必需品などの価格がさがったわけでも、賃金の上昇が物価高に見合うほどになったわけでもない。無償化は少なくとも令和6年度中は継続すべきであるため。

### ③誇りと愛着のもてるまちづくり

○学校長寿命化等推進事業(田富小)

9億9,333万円

○ICT教育環境推進事業(小学校)  
(中学校)

3,328万円  
1,263万円

○地域ぐるみの学校安全体制整備事業

92万円

児童・生徒を対象として新たに実施する、自転車用ヘルメット購入助成費用など



タブレットを使った授業

### ④安全で快適な住みやすいまちづくり

○地域公共交通活性化事業

2,178万円

新たな交通サービスの導入を見据えた、デマンド交通の制度設計の費用など

○玉穂中央通り線整備事業

7,463万円

○道路橋梁維持事業

1億6,561万円

○防災諸費

1億4,085万円

防災無線機器の安定運用と防災アプリ導入など機能強化を図る「防災行政無線システム改修事業」や、大雨・洪水警報等の基準の変更、昨年公表された山梨県地震被害想定調査結果などを踏まえた「地域防災計画改訂業務」の費用など



工事が進む玉穂中央通り線

## ⑤市民参加による協働のまちづくり

○外国籍児童生徒第三の居場所事業 **6,685万円**

○男女共同参画推進事業 **526万円**

デジタル化に伴う経済・産業構造の変化を踏まえて実施する「女性デジタル人材育成・起業就労支援事業」の費用など



男女共同参画推進フォーラム

○行政事務電算化推進事業 **1億5,823万円**

## 令和6年度 各特別会計予算

会 計 名	予 算 額	前 年 比
国民健康保険特別会計	31億2,901万円	▲2.7%
後期高齢者医療特別会計	5億188万円	23.4%
介護保険特別会計	22億5,190万円	3.4%
地域包括支援センター特別会計	1,204万円	▲7.9%
田富よし原処理センター事業特別会計	8,583万円	▲2.6%

## 令和6年度 各企業会計予算

	収益的収入及び支出			資本的収入及び支出		
		前年比		前年比		
簡易水道事業会計	収入	2億2,316万円 ▲0.7%	収入	1億1,000万円	175.0%	
	支出	1億8,854万円 ▲3.1%	支出	2億4,114万円	84.9%	
公共下水道事業会計	収入	8億1,262万円 1.5%	収入	8億7,785万円	23.4%	
	支出	8億1,262万円 1.5%	支出	10億1,211万円	22.3%	
農業集落排水事業会計	収入	2億7,927万円 12.3%	収入	3億8,226万円	271.5%	
	支出	2億7,927万円 12.3%	支出	4億1,553万円	205.1%	
上水道事業会計	収入	2億9,529万円 ▲0.3%	収入	1億500万円	▲8.7%	
	支出	2億7,259万円 ▲0.1%	支出	3億733万円	▲18.5%	

**令和5年度  
一般会計補正予算**  
8号(専決処分)、第9号

**2億1,231万円を増額**

**総額165億2,654万円へ**

**主な補正内容**

国の補正予算成立に伴う事業費の追加と、各事業の年度末までの支出見込みや事業費の確定等による補正、財源の組み替えを行うものです。

**○総務費**

ふるさとづくり  
 応援寄附金事業 ▲5,130万円  
 寄附額の減少を見込み、返礼に  
 要する報償費等を減額するもの

**○民生費**

物価高騰対応重点支援  
 給付金給付事業 1億3,515万円  
 保育園施設整備事業 ▲1,625万円

**○衛生費**

予防接種事業 ▲1,172万円

**○農林水産業費**

農業振興費 ▲5,661万円  
 強い農業づくり総合支援交付金事業の  
 減少等に伴い各種補助金を減額するもの

**○土木費**

中央市道玉穂中央通り線  
 整備事業 5,500万円

**○教育費**

分散学習環境整備事業 1,581万円  
 玉穂南小学校の特別教室の  
 空調設備工事

**○諸支出金**

財政調整基金費 1億1,965万円

**令和5年度 特別会計の補正予算**

会 計 名	補 正 額	総 額
国民健康保険特別会計(第4号)	260万円	32億6,417万円
介護保険特別会計(第4号)	▲1億951万円	23億306万円

## 主な条例案件

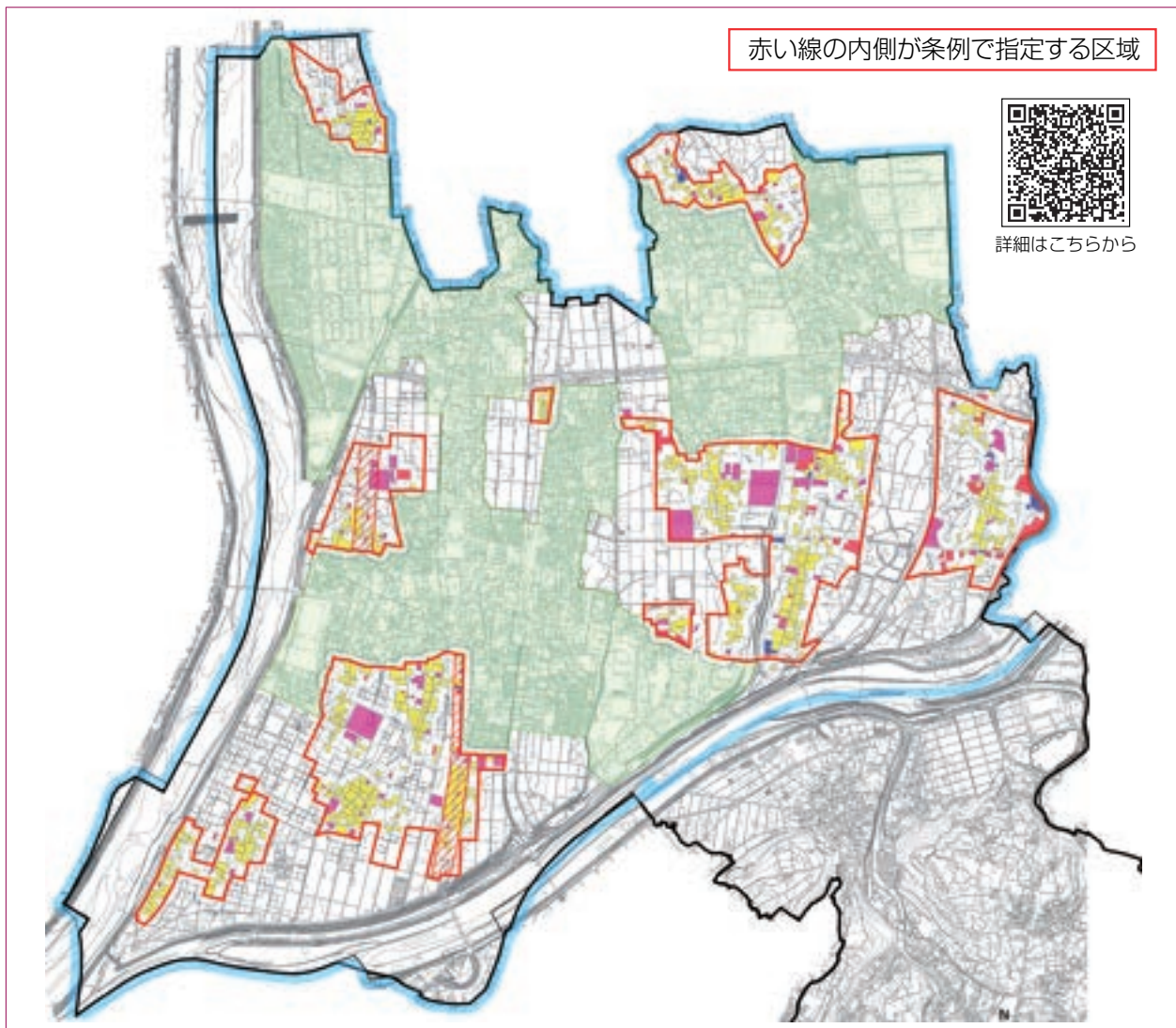
**地域の実情に応じた土地利用を実現するための手段として市街化調整区域における開発行為等を許可できるようにするため、区域や用途を定めます。**

### ●中央市都市計画法第34条第11号の規定に基づく開発行為の許可基準に関する条例制定の件（施行期日：令和6年5月1日）

#### 【主な内容】

都市計画法第34条第11号の規定に基づき、市の条例で区域や用途等の基準を定めることにより、市街化調整区域における開発行為の許可を可能にするもの。

- ・ 条例で指定する区域の要件(第3条関係)
  - (1) 建築物の敷地相互間の距離が、原則として50メートル以内で、おおむね50以上の建築物が連たんしていること。
  - (2) 環境の保全上、災害の防止上、通行の安全上または事業活動の効率上支障がないものとして道路が適当に配置されていること。
- ・ 条例で指定する建築可能な建築物の用途(第4条、別表関係)





## 介護保険制度の持続可能性を確保するため、介護保険に係る保険料の額及び保険料率を改めます。

### ●中央市介護保険条例中改正の件（施行期日：令和6年4月1日）

#### 【主な改正内容】

今後の介護給付費の増加を見据え、第1号保険者間での所得再分配機能を強化するため、標準段階の多段階化、低所得者の標準乗率の引き下げや高所得者の標準乗率の引き上げを行うもの。

（第2条関係）

- (1) 介護保険料の対象年度の変更
- (2) 介護保険料の所得段階の多段階化(10段階→15段階)
- (3) 基準所得金額の変更
- (4) 保険料率の変更

## 放課後児童支援員の資格要件の緩和措置を行います。

### ●中央市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例中改正の件（施行期日：令和6年4月1日）

#### 【主な改正内容】

子ども家庭庁からの通知により、「放課後児童支援員とみなすことができる研修修了予定者」の範囲を、「令和5年3月31日までに終了することを予定している者」から「職員の研修計画を定めた上で、放課後児童支援員としての業務に従事することになってから2年以内に研修を修了することを予定している者」と変更されたことに伴い、本市でも同様の措置を講ずるもの。（附則第2条関係）

## シルクふれんどりいの施設が一新されるため利用料金を改定します。

### ●中央市シルク工芸館ふれあい館条例中改正の件

（施行期日：公布の日から起算して6月を超えない範囲内において規則で定める日）

#### 【主な改正内容】

施設の一新による施設区分及び利用料金の改定を行うもの。（別表関係）

・主な施設の料金改定内容

浴室	利用料金
大人(中学生以上)	600円(改定前:420円)
小人(小学生)	310円(改定なし)
幼児	無料(新設)

このほか、研修室の利用区分や、宿泊利用・研修利用の料金の改定がありました。

## 人 事

### ●教育委員会教育長の任命

令和6年3月31日の任期満了により、新たに教育長を任命することに同意しました。

石 田 秀 博 氏

### ●教育委員会委員の任命

令和6年5月16日の任期満了により、新たに教育委員1名を任命することに同意しました。

薬 袋 美 和 氏

### ●固定資産評価審査委員会委員の選任

令和6年5月23日の任期満了により、新たに固定資産評価審査委員会委員3名を選任することに同意しました。

河 野 博 氏

加々本 哲 也 氏

秋 山 忠 彦 氏



## 主なその他案件

### ●変更契約締結の件

#### ◆シルク工芸館ふれあい館改修工事（建築主体）

【主な改正内容】

工事場所：シルク工芸館ふれあい館

契約金額：変 更 前 181,500,000円

変 更 後 183,920,000円

工事概要：種 別 改修工事

用 途 温泉宿泊施設

延床面積 1,756.37 m<sup>2</sup>

変更理由：数量変更による増額

# 第1回 定例会審議結果

○賛成 ×反対 (井口 貢 議長を除く)

種別	案件名	副議長	フォーラム										至誠会	日本共産党	結果				
		田中輝美	田中一臣	福田清美	小池草治	金丸俊明	斉藤雅浩	山本六男	笹本昇	薬袋正	中沢美恵	志村勇	有泉誠	内藤巧		山村一	江間政雄	新海一芳	木下友貴
<b>第1回定例会</b>																			
専決処分	一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例案件	都市計画法第34条第11号の規定に基づく開発行為の許可基準に関する条例制定の件																		
	会計年度任用職員の報酬等に関する条例中改正の件																		
	職員の育児休業等に関する条例中改正の件																		
	職員給与条例中改正の件																		
	職員等の旅費に関する条例中改正の件																		
	市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例中改正の件																		
	介護保険条例中改正の件																		
	子ども・子育て会議条例等中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例中改正の件																		
	市立保育所条例中改正の件																		
	上水道給水条例等中改正の件																		
	シルク工芸館ふれあい館条例中改正の件																		
豊富保健センター条例廃止の件																			
指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定の件																			
令和5年補正	一般会計補正予算(第9号)																		
	国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	介護保険特別会計補正予算(第4号)																		
令和6年当算	一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	
	国民健康保険特別会計予算																		
	後期高齢者医療特別会計予算																		
	介護保険特別会計予算																		
	地域包括支援センター特別会計予算																		
	田富よし原処理センター事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	簡易水道事業会計予算																		
	公共下水道事業会計予算																		
	農業集落排水事業会計予算																		
	上水道事業会計予算																		
その他	市道路線認定の件																		
	市道路線廃止の件																		
	市道路線変更の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	山梨県市町村総合事務組合規約の変更の件																		
	変更契約締結の件																		
人事	教育委員会教育長の任命について同意を求める件																		
	教育委員会委員の任命について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
	固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件																		

# 市長の 施政方針

## 中央市へのひと 流れの強化

本市の人口は、2

015年から202

0年にかけて微増となりましたが、国の政策や国際情勢に大きな影響を受ける国際移動を除いた社会増減では減少しており、本市へのひとの流れを強化していく必要があります。市外に居住する人にも魅力的な地域としていくことが重要となることから、賑わいの創出、観光資源の発掘や機能拡充などに取り組み、市内外にその情報を発信することで、交流人口や関係人口の拡大に取り組んでまいります。

## 若い世代が希望する結婚・ 出産・子育て・教育の実現

「親が子供が笑顔でつなぐ」をコンセプトにした中央市子育て支援センターの運営をはじめとする

様々な子育て支援サービスの充実、こどもたちが健康で暮らしていくための支援などにより、多様なライフスタイルに対応し、安心

してこどもを産み育てられる環境の整備を図ります。本市の次代を担う世代を育むため、学習意欲の向上促進や「まごころ教育」の推進などにより、児童・生徒を取り巻く教育環境の整備を推進してまいります。

## 時代に対応した持続可能な 地域づくり

将来にわたって安心して住み続けることができる地域とするためには、災害に強いまちづくりや循環型社会の構築と地球環境の保全が重要です。地区防災計画策定の促進など、地域に根差した防災力の向上などに取り組むとともに、ごみの減量化や資源リサイクルの推進により循環型社会の構築を目指すとともに、エネルギー資源の活用方法の検討や、健全な森林資源の維持増進などにより、地球環境保全の推進を図ってまいります。

## 市政は市民一人ひとりが主人公

4つの目標に関連する主要事業を積極的に展開し、デジタル技術の浸透・進展などを踏まえた、

デジタルの力を活用したまちづくりを推進することで、人口減少対策や本市の魅力向上を戦略的に進めてまいります。

一方で行財政改革大綱及び実施計画、公共施設等総合管理計画・各個別施設計画に基づき、限りある財政的・人的資源を有効活用することで、持続可能な効率的な市政運営の両立にも、引き続き取り組んでまいります。

市政運営で最も重要なことは市民の皆さまの共感を得ることであり、市全体が一つにならなければ施策の真価を発揮できず、具体的な成果へ結びつけることもできません。

令和6年度からスタートする新たな組織体制のもと、職員一同と力を合わせて、これまで以上に創意工夫を凝らし、また、施策を押し進めることの背景、現状をしっかりと共有し、理解と協力、賛同を得ながらまちづくりを推進してまいります。

これからも市民の皆さまの声を大切にする、市民の皆さまとの協働による市政運営を果敢に推進してまいります。



## 中央市における魅力的な働く場の 創出と人づくり

本市を生活する場として選択し、住み続けていくためには、働く場の確保が重要となります。現在、最終的な取りまとめを行っているまちづくりアクションプランに基づき、リニア中央新幹線開業による効果を含めた交通アクセスの優位性など、本市の強みを活かした企業誘致の推進や地域産業の振興に資するまちづくりに引き続き取り組んでまいります。



**Q**

人口減少に歯止めをかける取り組み、活力となる戦略について

**A** 新たに掲げた4つの基本目標に即した施策を行う

金丸 俊明 議員

**問：**人口減少に歯止めをかける取り組み、活力となる戦略について。

**答：**令和5年度は、新たに「中央市デジタル田園都市構想総合戦略」を策定した。この新戦略は、現行戦略の検証結果と国の戦略を踏まえ、地域ビジョンを再構築し、地方創生に取り組むこととし、計画期間を令和5年度から令和9年度までの5年間とした。また、4つの基本目標に即した施策を行うことにより、人口減少対策、活力あるまちづくりを推進していく。

基本目標1「中央市における魅力的な働く場の創出と人づくり」については、「企業誘致の推進」、「地域産業の振興」、「就労支援と人材育成」に取り組んでいく。

基本目標2「中央市へのひとの流れの創出」については、「地域の魅力の磨き上げ」、「交流人口・関係人口の拡大」、「移住・定住の環境整備」に取り組んでいく。

基本目標3「若い世代が希望する結婚・出産・子育て・教育の実現」については、「安心して生育てる環境整備」、「子育てと仕事の両立」、「次代を担う世代を育む教育環境の充実」に取り組んでいく。

基本目標4「時代に対応した持続可能な地域づくり」については、「くらしの基盤整備」、「循環型社会の構築と地球環境の保全」、「多様性の尊重と協働のまちづくり」に取り組んでいく。



**Q**

来訪者の消費を促し、税収を増やす具体的な案は

**A** デンマークの世界的なアウトドアブランドと連携したイベントを企画している

内藤 巧 議員

**問：**施設やイベントを充実させ、来訪者の消費を促し、税収を増やす具体的な案は。

**答：**令和6年度にはデンマークの世界的なアウトドアブランドと連携したイベントを企画しており、今後も、このような取り組みを推進し、市外から大勢の来訪者呼び込み、その賑わいを市内全域に広げ、消費拡大を促し、税収増を図っていきたい。

**問：**今後、転換ゾーンも含めた坪単価（施設活用により）の税収増の展開は。

**答：**本市の目指す姿を「交流と活力が織りなす 彩り豊かな 産業未来都市」と定め、「交流」、「暮らし」、「活力」をキーワードに、各種施策に取り組み。「産業振興戦略」として、「立地特性

を活かした企業誘致」、「農業振興の維持・向上」及び「産業振興の推進」の3つを重点的に展開し、県内・県外企業の誘致や山梨大学医学部附属病院との連携などの具体的な取り組みを進める。また、「観光戦略」として、「にぎわいの創生による交流人口の拡大」及び「本市の特徴を活かした観光資源の充実・PR」を重点的に展開し、商業機能の誘致や宿泊施設の誘致などに取り組み、効果的・計画的な土地利用転換を進める。このようなまちづくりの取り組みを加速させ、多くの人が集い、賑わいのある空間を創出することにより、本市の価値を最大限に高めていく。

【関連質問】

福田清美 議員



**A Q**

**農地の適正管理の徹底を促す  
方策は**  
農地集約化や新たな担い手の参  
入を容易にし、農地の有効利用・  
適正管理に繋げていく

齊藤 雅浩 議員

**問：**農地の適正管理の徹底を促す方策について。

**答：**農業委員会から、農地の適正管理を促す通知の発送や農地の貸借の案内など所有者の理解を求め、また、住宅に近接する耕作放棄地では、市民環境課と連携して周辺環境の改善に対応している。さらに本市が目指すべき将来の農地利用の姿を明確化するため農業振興地内農用地区域を中心に地域計画策定を進めている。農地所有者、耕作者にアンケート調査を行い、農地の集団化の範囲を示した目標地図を作成し、地域の関係者と一体となって農業施策に取り組み、農地集約化や新たな担い手の参入を容易にし、農地の有効利用・適正管理に繋げていく。

**問：**県機構借受農地整備事業制度の詳細について。

**答：**山梨県農地中間管理機構を通じて借り受ける農地について行う条件整備を支援する事業で、営農支援とともに農地集積を加速化し、農地中間管理事業を円滑に推進し、借受農地に耕作放棄地がある場合は、再生活用できる。事業主体は機構及び市町村、事業内容は、障害物除去・処分など再生作業、客土、農業用排水施設の設置等の耕作条件整備事業で、10アール当たり40万円以内の助成措置で、今年度の活用実績は2件である。今後も制度を適切に活用し、農地の適正管理に努める。

【関連質問】

福田清美 議員

江間政雄 議員



**A Q**

**能登半島地震からの教訓をどう考えるか**  
様々な問題点や教訓を整理・見直し、本市における災害を想定した準備・対策へと反映し、生かしていく

田中 輝美 議員

**問：**能登半島地震からの教訓をどう考えるか。

**答：**本市の職員を石川県珠洲市の物資集積拠点に派遣し、被災地の状況や支援活動の内容、「災害時の助け合いの必要性」、「関係機関等との協力関係の大切さ」、「被災地に対する継続支援の必要性」などの報告を受けた。令和6年度の「中央市地域防災計画の改訂」では、「能登半島地震」の問題点や教訓をあらためて整理・見直し、本市の災害を想定した準備・対策へと反映し、生かしていく。

**問：**外国人市民を対象とした防災教育・訓練についての見解は。

**答：**現在、外国語版の中央市防災マニュアルの配布や避難所案内板の多言語表示などの対応を行っているところであるが、災

害情報を取得する際には、言葉の壁や文化の違いなどがあるため、防災知識をわかりやすく普及する必要がある。まずは、国際交流協会が実施している「日本語教室」や、3月1日にプレ開設した「外国籍児童生徒の第三の居場所事業」において、「中央市における防災」や「自助・共助を含めた災害時対応」について学ぶ場を確保するとともに、今後も自治会や市の防災訓練へ外国人市民が参加できる環境や体制を整え、サポートしていく。

【関連質問】

小池章治 議員

木下友貴 議員



**Q** 全ての方に必要な介護を提供できる市にするために

**A** 状況に応じた施策等の検討に努めていく

木下 友貴 議員

**問：**介護保険料の引き下げ、保険料及び利用料の減額免除を拡大し、利用者の負担軽減及び介護給付費準備基金を活用しての高齢者や介護サービス利用者への経済的負担の軽減について。

**答：**介護保険料は、3年間に必要な介護給付費等を推計して決定するので、保険料の引き下げにより必要な介護給付費が確保できなくなる懸念がある。保険料や利用料の減免等は、保険料の引き上げにつながりかねないことから慎重に検討する必要がある。介護給付費準備基金は、第1号被保険者が負担する保険料の余剰金を積み立てたものであり、基金が造成された期間の被保険者に還元されるべきものであり、令和6年度から令和8年度まで

の保険料の算定にあたり、基金の一部を取り崩し、第5段階の保険料を据え置いたための財源に充当する方針である。

**問：**認知症対応型共同生活介護（グループホーム）等への補足給付の拡大について。

**答：**補足給付は、在宅と介護保険施設利用者との負担の公平性と介護保険制度の持続性を高める観点から、令和3年度に自己負担額の引き上げが行われた。グループホーム等は在宅要介護者へのサービスに位置づけられていることから、現段階では国への要請や市単独の支援策は考えていない。引き続き国の動向を注視していく。

【関連質問】

笹本 昇 議員

総務教育常任委員会

審査ポイント

ふるさと納税の返礼品

《審査内容》

一般会計補正予算（第9号）

《政策秘書課》

**問：**ふるさと納税で制度の変更により減額とのことだが、内容は。

**答：**昨年10月に、ふるさと納税の経費の対象外だった事務経費を含めるよう改正されたことと、市場産品基準がさらに厳しくなった。基準が厳しくなったことで本市で一番人気の10万円の寄付返礼品のフルーツ7種定期便を、6種に変更した。また、事務経費を含めるようになったため、10万円の寄附では経費5割以内の基準を満たせなくなり、寄附額を11万円に増額した結果、一番人気の返礼品が影響を受け、寄附額が1億円以上減少した。

《管財課》

**問：**今回、防犯カメラを設置して今現在、何台あるのか。また、今後、設置する予定はあるか。

**答：**管財課では今回設置したものも含めて14台。今後、総合防災公園に9台設置する予定。

《生涯教育課》

**問：**体育施設整備事業でLED化のための調査設計業務委託が未実施となったとのことだが、その理由は。

**答：**屋外体育施設夜間照明のLED化整備の方法としてリース方式の他に買い取りによる工事も含めて再度検討し直すこととなった。管理運用に適切で市民の皆様が安心して利用できるLED化の方法についての判断に時間を要してしまったため、未実施となった。再度、令和6年度の補正予算で対応することとしたい。

厚生常任委員会

審査ポイント

豊富保健センターの解体はいつごろか

中央市立豊富保健センター条例  
廃止の件

〈健康増進課〉

問：豊富保健センターの解体はいつごろを予定しているか。

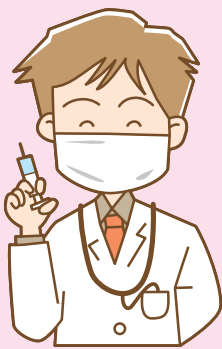
答：解体は未定だが、隣接する施設も含め使用停止となっているため、調整し一体的に解体していく予定。

一般会計補正予算（第9号）

〈健康増進課〉

問：妊婦健診や産婦健診、風疹やHPVなどのワクチンも想定より少なかったとのことだが、受診状況はどうか。また、問題点はなかったか。

答：健診については、コロナの影響により受診率が特に落ちているというわけではなく、少子化も一つの要因ではないかと考えている。HPVワクチンについては、当初予算の見込みが難しく、全体的に予算を多く計上した結果となった。CMの効果



等もあり、定期接種対象者は、当初見込んでいた人数が接種をしたが、キャッチアップの人数が見込みより少なかった。

介護保険特別会計補正予算（第4号）

〈長寿推進課〉

問：介護保険努力支援交付金とはどういうものか。

答：令和2年度から新たに始まり、介護予防や健康づくりに対する取り組みについて評価を行い、その評価によってインセンティブ交付金ということで交付されるもの。

産業土木常任委員会

審査ポイント

市街化調整区域について

中央市都市計画法第34条第11号の規定に基づく開発行為の許可基準に関する条例制定の件

〈都市計画課〉

問：市街化調整区域でライフラインの計画を進めていかないと、この条例が進んで行かないと思うがどうか。

答：この条例の目的が、市街化調整区域内の既存集落の維持と活性化。既存集落内においては、一定の公共施設整備が済んでおり、新たに整備が必要ないという区域を指定した。今後、住宅が増えていけば、必要に応じて整備することも考えられる。

問：区域の境界で50メートル以内であれば建物が連たんしていれば良いという考えで良いか。

答：あくまでも既存集落が基本となっており、図面（P8参照）の赤く囲った区域外では建築物は建てられない。また、区域内でも条件がそろわなければ建築できない。ただし、今後、住

宅が増えていくことで、エリアの見直しは検討していく。

中央市シルク工芸館ふれあい館  
条例中改正の件

〈産業課〉

問：使用料の値上げは当然かと思うが、市内の人も市外の人も同じ料金なのか。

答：同一料金となる。

問：市民へのサービスとして、割引するようなことは考えなかったのか。

答：観光施設ということで考えているので、差別化していない。

問：一般的に高過ぎる。もう少し検討し、市民に目を向けて考えていただきたいがどうか。

答：燃料費、人件費、電気料など、全てが高騰しており、いたしかたないという判断。また、料金は安くできないが、指定管理者で回数券を発行するなどの対応をしてもらいたいと考えている。



中央市一般会計予算

〈総務課〉

**問：**自治会長報酬の均等割で世帯数が多くても少なくとも一律15万円というのはどうかと思う。見直しの考えは。

**答：**今後、検討していく。

〈政策秘書課〉

**問：**ふるさと納税を活性化し、税収に繋げるという意気込みのある職員を選任し、担当課だけではなく連携して取り組んでほしいがどうか。

**答：**今までも一生懸命職員が取り組んできてはいたが、これからも政策秘書課が中心になって全庁的にふるさと納税には取り組んでいきたい。

〈企画課〉

**問：**令和6年度に新たな公共交通サービスの制度設計の費用や実証運行の費用を設けているが、本市が考えるデマンド交通は具体的にどのようなものか。

**答：**今回計上している制度設計で

細かい設定などを決めていく。とまチュウバスの使いづらい点や、金額的に持続可能なか等を含めて、利用者が「生活のための移動手段として利用」するレベルを、なるべく下げないデマンド交通の制度設計を検討していきたい。

〈危機管理課〉

**問：**防災行政無線の改修の内容は。

**答：**メインとして操作卓の改修で一斉情報サーバーの改修、Jアラートの自動起動装置の更新、アプリ基本システムの構築を行う。

**問：**防災無線放送が聞こえづらいと意見もあると思うが、現在のスピーカーを変更し、できるだけ広範囲に聞こえるようなスピーカーを導入するというようなことは検討しているか。

**答：**防災行政無線システム更新で、電波自体も高性能で聞きやすさが向上するというのを聞いている。聞こえづらいところところに対して、聞こえづらさを解消していくよう対応していきたい。

〈管財課〉

**問：**農村公園はネーミングライツ収入があるが、防災総合公園はネーミングライツや親しみやすい名称を市民から募集するなど考えなかったのか。

**答：**ネーミングライツ等も考えているが、別の愛称等が決まってしまうとネーミングライツに支障が出る可能性もあるので、それを踏まえながら検討していきたい。

〈教育総務課〉

**問：**学校給食費は、1学期分を無償化するが2学期分と3学期分は無償化しないということか。

**答：**2学期分と3学期分は状況をみて判断していきたい。

〈生涯教育課〉

**問：**外国籍児童生徒第三の居場所事業の報酬が合計で6名であるが、具体的にどのような人を配置する予定か。

**答：**特に資格が必要な方を求めているわけではなく、あくまでも外国人の方々が安心して宿題をやったり、日頃の悩みを打ち明けたり



外国籍児童生徒第三の居場所事業

と、そういう居場所づくりにするためであるので教員免許が必須ではない。たまたま今回教員OBの方から応募いただいたので、学習支援員3名は教員OBの方。拠点マネージャーは、運営から人員配置を統括し管理していく必要がある。B&G財団で研修し、教育を受けた方を配置する。アルバイト3名というのは、子どものケアができ、また、子どもたちが安心してできるような方々を採用していきたい。

〈産業課〉

**問：**地域おこし協力隊について、支援団体として中央市農業振興公社が支援団体として名乗りを上げているようだが、そこでは1名を募集している。予算計上では2名となっているが、新たに1名募集するということか。

**答：**中央市振興農業公社およびヨダファームが支援機関として決定した。それぞれ1名を募集し、3月1日から来年2月28日までの期間で2月27日に委嘱した。

〈長寿推進課〉

**問：**田富福祉公園は、当面の間、存続することであるが、とりあえず令和6年の1年間というところか。

**答：**令和6年の1年間は運営する。

〈子育て支援課〉

**問：**それぞれの市立保育園が特色ある保育園づくりを行っているが、田富第三保育園に特色ある保育園づくりでリトミックと運動遊びの両方あるが、どのように扱っているのか。

**答：**昨年、田富第二と田富第三保

育園の保護者に、統合に関する説明会を実施した。その中で保護者から、「できるだけ保育環境に変化のないような形での継続を希望する」といったご意見も

いただき、特色ある保育園事業はできるだけ継続しながら並行実施をしていきたい。

**問：**保育料の無償化に伴い、田富北保育園と田富第二保育園、豊富保育園での一時預かり費用や延長保育費用の負担はどうなるのか。

**答：**完全無償化事業は、あくまでも保育料が対象となるので、延長保育など実費徴収に係るような費用は、従来どおり負担いただく。



市内保育園の様子

〈健康増進課〉

**問：**特定不妊治療の助成で令和6年度は何名を見込んでいるのか。また、助成要件は。

**答：**事業費を算出するにあたって人数ではなく過去6年間の事業費の平均で計上している。また、要綱では、現在、夫婦が通算で5年とされているが、1子につき5年と改正し、令和6年4月からの施行に向けて準備を進めている。

〈建設課〉

**問：**令和5年度の予算にはシルクラインの延伸ルートの検討業務委託が計上されていたが今回は計上されていない。成果は怎么样了のか。

**答：**現在作成中で、3月中に業務内容が出てくるため成果はまだ来ていない。そのため、新年度予算も計上していない。

**問：**状況を見て令和6年度補正予算で対応していくのか。また、担当課としては今後どういう方向に持っていくのか。

**答：**現在、3つのルート設計を行っているが、その中で一番いいものがあるのかどうかの調査を行

う。また、事業費等の内容を精査し、国や県に陳情に伺うかどうかの確認をしていきたい。

中央市後期高齢者医療特別会計  
予算

〈保険課〉

**問：**高齢者の人間ドック受診者に対して市からの支援の考えはないか。

**答：**市からは77歳と80歳に対しての補助しかないが、今後、人数や年齢を伸ばしていくのか、脳ドックなどを増やしていくのかを、考えていく予定でいる。

中央市田富よし原処理センター  
事業特別会計予算

〈下水道課〉

**問：**田富よし原処理センターは、令和7年で廃止ということであったが、1年延びて令和8年になるということが良いか。

**答：**令和7年度に廃止予定であったが、上流部で管路の老朽化に伴い、不明水の流入が見られる部分の調査と改修を行ってからでないかと切り替えは難しい。1年かどうかは分からないが延長される。

議会改革推進委員会

議会改革推進委員会では、議会の責任や役割を果たすため必要とする議会改革への取り組みを協議しています。

今回は、特集でも取り上げた「第9回市民と議会の対話集会」の意見集約を行いました。各グループの報告をもとに、協議検討事項を精査し、市当局に提出しました。

またタブレット端末の導入に向けて、運用基準の検討を始めました。

引き続き、これらの事項についてしっかり協議を進め、結果など進捗状況を報告していきます。



現地視察  
報告

シルク工芸館ふれあい館  
(シルクふれんどりい)

3月12日に議員全員で現地視察を行いました。

工事中の現場でしたが、図面を見ながら担当課から説明を受けつつ施設内をまわり、体験施設や入浴施設など、改修が進んでいる様子を確認し、議員からは完成後の活用方法等様々な質問が出ました。



合同  
研修会

山梨県市議会議長会  
議員合同研修会

2月1日、山梨県内の市議会議員が一斉に集まり研修会をおこないました。

講師は、現在東京都立大学法学部の教授である大杉覚氏で、「地域づくりとこれからの地方議会」を演題として、現在の地方議会を取り巻く状況や、コロナ禍を乗り越えた先の地域づくり、それに対する議会や議員の役割等について、貴重な公演を聞きました。



表紙の写真を  
大募集!!

議会だよりでは、皆さまから表紙の写真を募集しています！  
今年度のテーマは「つどい・にぎわい」です。  
奮ってご応募ください。



※詳細は  
HP([https://www.city.chuo.yamanashi.jp/soshiki/gikai/gikai\\_info/4245.html](https://www.city.chuo.yamanashi.jp/soshiki/gikai/gikai_info/4245.html))  
をご覧ください。事務局 (055-274-8516) までお気軽にお問い合わせください。



# 市民の談話室

2024.5月  
VOL.73



T409-3892

山梨県中央市白井阿原301-1 ☎055-274-8516



木原  
おさだ はつお  
長田 初雄 さん

## 初めてのボランティア

最近毎日見聞きする『ボランティア』という言葉。なぜか私には無縁のものという思いがありました。43年間の会社勤めはあつという間に過ぎ、この地域社会と交わる機会はなかなかありませんでした。

退職の日、「すべての仕事が終わった。思い残すことはもう何もない。明日からは毎日が日曜日。好きなフライフィッシングや車いじり、晴耕雨読ってのもいいかな？」などと妄想していたのも束の間、待っていたのは親の介護でした。

毎日介護士さんや看護師さんに助けていただきながらなんとか自宅において終末の面倒見を尽くすことはできたのですが、この時、人は周りからの支えがなければ生きられない、やがて自分も最後はこうなるということを感じさせられていました。

そんな思いでいる中、近所の方から「ボランティアの活動はどうか」とのお話がありました。無縁と思っていた気持ちの隙間にピタッとハマった感じがしました。移動支援の活動です。少しは地域社会のお役に立てるかな？という思いで、取り組み始めたところです。

## 編集後記

3月定例会中は寒い日もありましたが、4月になると暖かい日が多くなりました。観光にもちょうどいい季節となり、中央市でも桃と桜のサイクリングが多くの方の参加で開かれました。これからも市内外で多くのイベントが開催されると思います。いろいろなイベントが楽しめる年になることを願っています。

4月から市役所の組織が変更され、部課制に戻りました。庁内の横断的な調整機能を強化するためです。庁内の連携がさらに改善され、市民サービスが向上す



上三條  
ないとう いずも  
内藤 出雲 さん

## 子育てのしやすいまち

結婚、子どもの出生を経て、新居の購入に際し、自分が生まれ育った中央市を選択しました。決め手は交通の便の良さ、商業施設への近さ等、生活のしやすさです。

住んでいる上三條自治会では、高齢の方も多くいますが、少しずつ新築の家も増え、若い方も入り続けています。子どもと地域を散歩していると、年齢関係なくたくさんの方が声をかけてくれます。近所のなじみのご夫婦には、子どもを庭先で遊ばせてもらったり、雪かきを手伝ってもらったりと、とてもお世話になっています。地域の方々の温かさを感じ、また支えられていることを実感しています。

中央市には、子育て支援センターや今年新たに完成した総合防災公園など、子どもたちを連れて遊びに行ける場所も多くあります。今年度、娘と息子が市内の認定こども園に入園しましたが、未満児クラスの息子の保育料は、市独自の拡充によりこの4月から無償化となり、生活にも余裕ができました。

人と人が繋がる、行政と人が繋がる、そして子どもたちが生き生きと育つ、そんな中央市の良さをさらに広げていってほしいです。

ることを望みます。議会でも複数の課にまたがる内容を扱うことが多くあります。今回の特集ページで紹介した市民と議会の対話集会を始めとした議会改革を不断に進め、質疑や政策提案などを、さらに取り組んでまいります。

## 議会広報編集委員会

委員長 木下 友貴  
副委員長 内藤 巧  
委員 有泉 誠 中沢 美恵  
江間 政雄 田中 輝美